



2007.7.29
No.12

〒104-0045 東京都中央区築地 1-4-11 日東ビル 202
電話 (03)5888-4799 FAX (03)5888-4809
E-mail 9jo-net@9jo-net.org
HTTP www.9jo-net.org

内部資料

憲法9条を殺すな！

もう一声かけましょう

昨日フィナーレ。各候補者は最後の訴えを行った。まだ、投票まで時間はある。知り合いにもう一声、「9条ネット」への投票を呼びかけましょう。



天木直人候補、イーホームズ藤田東吾代表と 東京銀座四丁目



ZAKI 候補、早苗 NENE さんと 東京渋谷駅前



藤田恵候補 徳島市マイクおさめでの力の入った挨拶。



小山広明候補 候補が住む町、泉南市を自転車で回りました。

「9条を変えてはならない」

～銀座フィナーレで 天木直人候補

午後6時の銀座四丁目、三越の前に9条ネットカーが陣取りをしている。猛烈に蒸し暑い宵だ。9条ネットの比例区公認、天木直人候補の宣伝カーが登場するまでの間、前田知克共同代表の声が、銀座に鳴り響く。

「憲法9条を殺してはならない。9条を生かすためには明日の投票日、比例区の投票用紙には“9条ネット”と書いてください」。

天木カーが登場した。日焼けして、少し細面になった天木直人候補は、白いスーツにピンクのワイシャツ。17日間の選挙戦を戦い抜いた疲れをうかがわせるものの、表情は気力に溢れている。

「4年前、私は当時の小泉首相の米イラク攻撃支援策を批判して、外務省を追われた。私はなぜ、そのような批判をしたのか。当時の私のもとには、レバノン人、パレスチナ人、イラク人などの中東の人々が毎日のように会談を求め、“アメリカのような強大な軍事力に適うはずがない。日本は、アメリカの軍事力行使を止められる国だ”と語り続けた。その声は真実であり、だからこそ私は小泉首相に米国支援を中止するよう求めた」。

説得力のある天木候補の声が銀座の街に響き渡る。足をとめて聞き入る聴衆はすでに100人を越えている。

「だが、私の行動は政府と外務省の逆鱗に触れ、“君はこれ以上、外務省にいても惨めになるだけだから辞めるべきだ”と上司に言われて首になった。日本はいまや、米国の言いなりになっている。自衛隊は米軍の指揮下に入り、日本は米国の属国になろうとしている。その象徴が9条の改悪だ。憲法9条は最強の安全保障であり、それは外交官として36年間勤め上げてきた私の実感である。私の背中には、レバノン、パレスチナ、イラクの死者の思いが張り付いている」。

聞き入る聴衆の表情は真剣だ。瞳に力がこもっている。天木候補の演説は続く。

「9条を変えてはならない。私は普通の人であり、政治に関わりたくなかった。それが民主党でもなく、社民党でもなく、9条ネットから立候補したのは、そのポジションが新しい政治を作るために必要と思ったからだ」。

拍手が沸いた。

続いてイーホームズの藤田東吾社長、北野弘久・國弘正雄・糸井礼子の3人の9条ネット共同代表が応援演説。選挙戦最終日の最後の時間帯。各弁士の声に緊張感が漂う。

かつて、“じゅんとねね”として大ヒットを飛ばした歌手、早苗NENEさんが応援に駆けつけた。

「私は昔、政治に関心がなかったし、今日、道行く人と同様に避けて通っていました。だけれど、憲法9条が危なくなると、真剣に政治を考えざるを得なくなりました。そうした中で、天木さ

んと出会いました。尊敬できる男性でした。その思いをこめて“サヨナラ戦争”を歌います。

NENEの澄んで力強い声が銀座の街に響き渡る。憲法9条に曲をつけたアカペラの歌声だ。四丁目の交差点を過ぎ行く人々が振り返る。

このようにして7月28日、参議院選挙の最終日は午後8時を迎えた。ワコーの時計台から鐘が流れる。司会の嶋崎三鷹市議が、「天木コールで締めくくりましょう」と提起。「アマキ！ アマキ！」の声が梅雨明け間近の空に響き渡った。

ZAKIさんのTV出演予定

7月29日(日)午後10時から インターネットTV「オーマイニュース」の「開票ライブ」
<http://www.ohmynews.co.jp/news/20070725/13492>

7月30日(月)午前11時から TBS系列で「ピンポン！」